

令和7年度PF-UA

タンパク質結晶構造解析グループ
(PX-UG)

ユーザーグループミーティング

日時：2026年3月11日（水）17時～19時

場所：水戸市民会館 小会議室308

Zoomによるハイブリッド会議

プログラム

1. はじめに（橋本・静岡県大）
2. 来年度（R8年度）の新体制紹介（橋本・静岡県大）
3. UG活動報告（中級者向け講習会）（橋本・静岡県大）
4. 構造生物学センターより（千田・KEK）
5. ビームラインの現状と今後の予定（松垣・KEK）
6. クライオ電顕の現状と今後の予定（藤井・KEK）
7. 自由討論
8. まとめ（千田・KEK）

プログラム

1. はじめに（橋本・静岡県大）
2. 来年度（R8年度）の新体制紹介（橋本・静岡県大）
3. UG活動報告（中級者向け講習会）（橋本・静岡県大）
4. 構造生物学センターより（千田・KEK）
5. ビームラインの現状と今後の予定（松垣・KEK）
6. クライオ電顕の現状と今後の予定（藤井・KEK）
7. 自由討論
8. まとめ（千田・KEK）

R7年度 PX-UG幹事会

代表	橋本博（静岡県立大学薬学部）	R6～8年度（3年）
幹事	佐々木大輔（和歌山県立医大薬学部）	R4～7年度（4年）
	白石充典（東京理科大学先進工学部）	R4～7年度（4年）
	喜多俊介（北海道大学大学院薬学研究院）	R6～9年度（4年）
	竹下大二郎（産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門）	R6～9年度（4年）
	菱木麻美（静岡県立大学薬学部）	R7～10年度（4年）
	永田隆平（名古屋大学大学院生命農学研究科）	R7～10年度（4年）
企業	河内宏樹（中外製薬株式会社）	R6年度～R7年度（2年）

R7年度 PX-UG幹事会

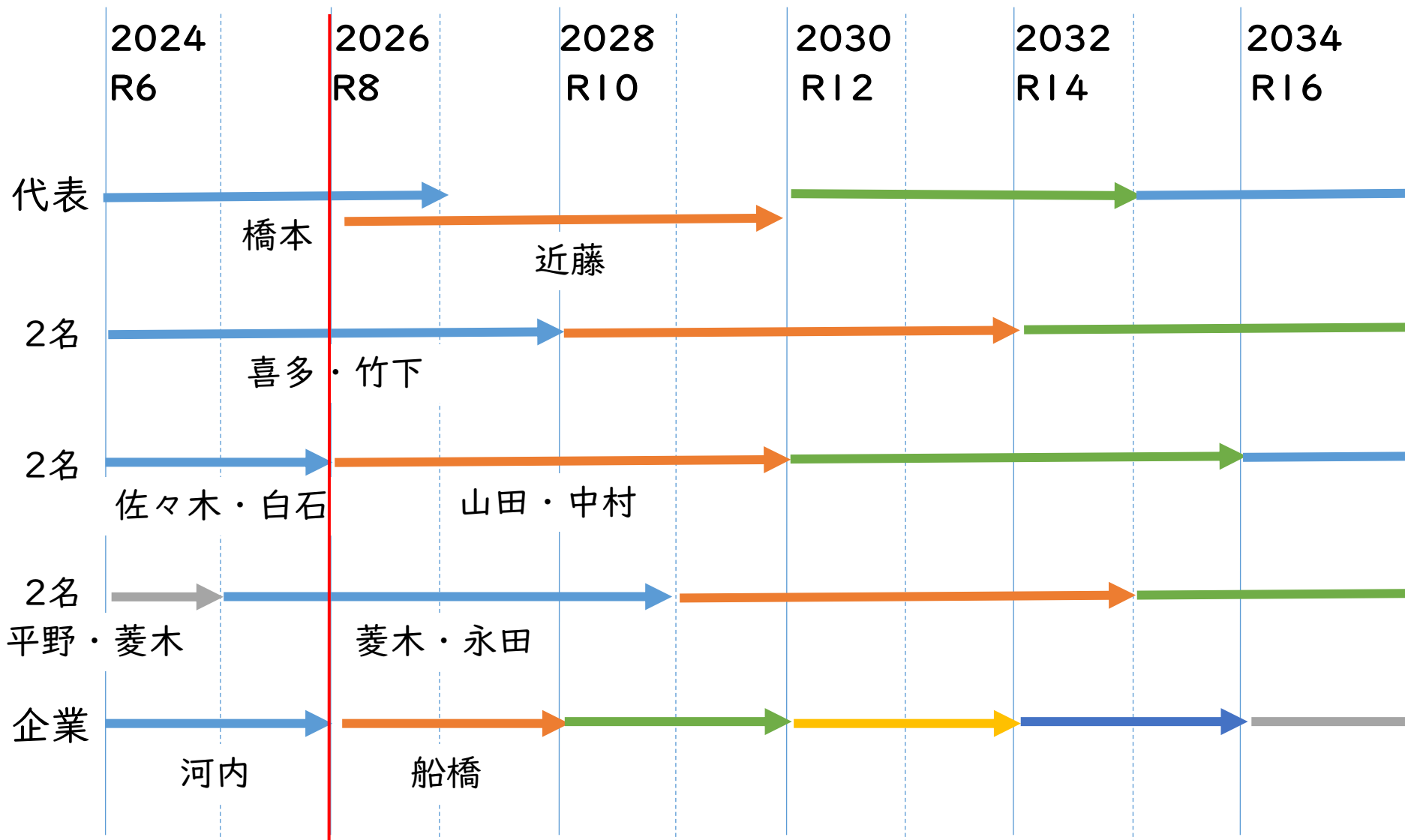
代表	橋本博（静岡県立大学薬学部）	R6～8年度（3年）
幹事	佐々木大輔（和歌山県立医大薬学部）	R4～7年度（4年）
	白石充典（東京理科大学先進工学部）	R4～7年度（4年）
	喜多俊介（北海道大学大学院薬学研究院）	R6～9年度（4年）
	竹下大二郎（産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門）	R6～9年度（4年）
	菱木麻美（静岡県立大学薬学部）	R7～10年度（4年）
企業	永田隆平（名古屋大学大学院生命農学研究科）	R7～10年度（4年）
	河内宏樹（中外製薬株式会社）	R6年度～R7年度（2年）

R8年度 PX-UG幹事会

代表	橋本博（静岡県立大学薬学部）	R6～8年度（3年）
幹事	喜多俊介（北海道大学大学院薬学研究院）	R6～9年度（4年）
	竹下大二郎（産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門）	R6～9年度（4年）
	菱木麻美（静岡県立大学薬学部）	R7～10年度（4年）
	永田隆平（名古屋大学大学院生命農学研究科）	R7～10年度（4年）
	山田千早（明治大学農学部）	R8～11年度（4年）
	中村顕（AIM医学研究所）	R8～11年度（4年）
	近藤次郎（上智大学理工学部）	R8～11年度（4年）
企業	船橋俊也（味の素株式会社）	R8年度～R9年度（2年）

幹事の任期

代表は3年、幹事の任期は基本4年。企業の方は2年、自身が希望すれば2年延長)



活動報告

第10回中級者向け講習会

<https://pf-form.kek.jp/tanpaku/chukyu/10th/>

<https://research.kek.jp/group/pxpfug/katsudo/shiryo11.html>

第10回タンパク質結晶構造解析中級者向け講習会

【日時】 2025年11月8日（土）14:00～17:45

【場所】 東京理科大学葛飾キャンパス・講義棟3階E303教室

【形式】 現地対面とZoomを使ったオンラインのハイブリッド形式

- ・ CCP4/Servalcatを用いた構造精密化
（東京大学先端科学技術研究センター 山下 恵太郎）
- ・ チュートリアル
（北海道大学薬学研究院 喜多 俊介）
- ・ Recent updates to structural validation in wwPDB OneDep system
wwPDB OneDepシステムにおける構造検証の最新アップデート
（大阪大学蛋白質研究所/PDBj 于 健）
- ・ ビームライン開発の最新状況
（KEK IMSS SBRC 引田 理英）
- ・ 総合討論
- ・ 懇親会

事前登録数71名（現地参加者19名）
懇親会参加者14名

発表の内容の一部（資料）は
HPでご覧になることができます

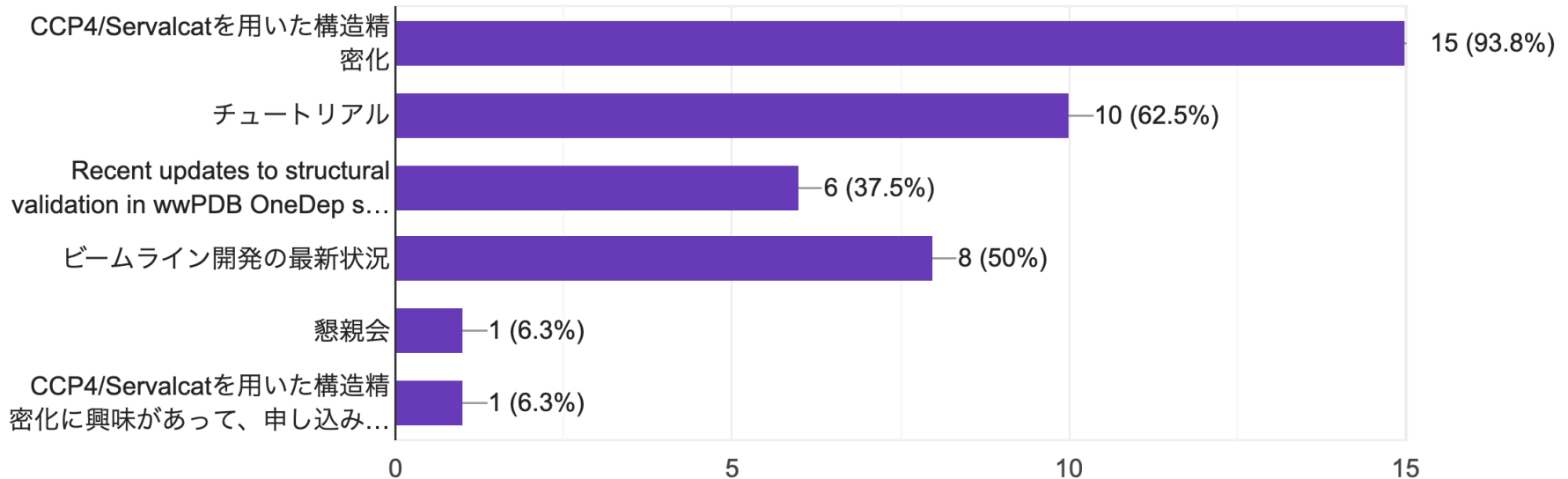
<https://research.kek.jp/group/pxpfug/katsudo/shiryo11.html>

第10回中級者向け講習会 アンケート結果（回答数16）

(1) どの項目に特に興味を持って参加しましたか。（複数回答可）

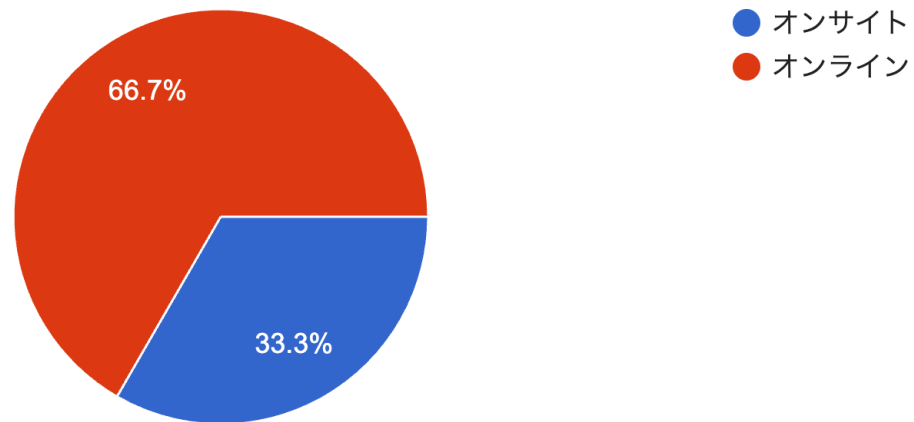
(1) どの項目に特に興味を持って参加しましたか。（複数回答可）

16件の回答



(2) 参加方法

(2) 参加方法
15件の回答



(3) 講習会で良かった点があれば自由に記入してください。

- Servalcatの制作者である山下先生の話が直接聞けたこと。
- 最新の状況の話が本音的な部分も含めて聞いて大変勉強になりました。
- 最新のソフトウェア技術を教えて頂き、早速、使い始めた。
- Servalcatを実際に動かすことが出来た。
- オンライン開催して頂き、とても感謝しています
- 構造精密化の話は勉強になった。チュートリアルを体験し、手軽に使えることが分かった。PDB-IHMは興味深かった。懇親会は有意義だった。
- servalcatについて知れたこと
- 参加することはできませんでしたが、講習会の資料を閲覧させていただき、私にとっては難しくも大変興味深い内容であることがわかりました。大変参考になります。資料を拝見させていただいて、参加できなかったことが悔やまれます。
- 実際にソフトの開発者が精密化の具体例を説明していただいて勉強になりました。
- 精密化についての講義がわかりやすかった。
- sevalcatの話はよかったです。学生に聞かせたかったです。

(4) 講習会での不満点があれば自由に記入してください。

- 毎年土曜日の開催ですが、平日に開催していただくことはできないでしょうか？とても勉強になるので極力参加したいのですが、休日は子供の預け先に困ってしまいます。
- オンラインでの音声はやや聞き取りにくかったのが残念でした。マイクの配置？設定？ノイズキャンセリング？回線？の何が影響しているかはわかりませんが、次回以降改善されるとありがたいです。
- 特になし。
- 自分は学生でオンサイトでの参加だったが、学生のオンサイトでの参加が少ないと思った。
- 欲を言えば、オンライン配信の音声がもっとクリアであれば最高でした
- オンサイトでの参加が増えると良い。
- 時々音声が聞き取りにくかったです。また、以前の中級者講習会では発表の先生のスライドをwebサイトにアップしていただいていたと思うのですが、支障がなければ以前のようにアップロードしていただきたいです。
- オンラインでは会場の声が聞き取りにくい場面があって、確実にマイクを使うなどの配慮をしてほしい。
- オンラインの実習はやはり難しいなと思いました。でも、日本語で説明されるtutorialは大変ためになると思いますので、頑張っていたきたいと思いました。

(5) 今後、中級者講習会で取り上げてほしい話題があれば自由に記入してください。

- XAFSや顕微分光測定など単結晶構造解析の結果を補助する測定ツールの講習会
- 構造解析に有用な技法
- 放射光の課題申請に関するコツ。
- 試料調製からの結晶化、シミュレーションやバイオインフォ、CCP4i2
- ccp4i2の便利な使い方
- 室温測定の具体的な方法、測定に臨む際の考え方、データ処理のtips等をお聞きしたいです。
- 最新の情報と同時に、基礎的な話 今回の山下さんの話はある程度基本もかすりながら丁寧に解説してくださった印象があります。測定そのものはブラックボックスになっている反面、全自動に振り切ってもいけないこともあり、基礎的なお話をしてもらってもいいかもしれないと思いました。

(6) PF (構造生物学) のスタッフへ伝えたいこと・要望等があれば自由に記入してください。

- いつもお世話になっております。人が減って大変かと思いますが、引き続きよろしく御願い申し上げます。
- いつも助かっております。ありがとうございます。
- いつも大変お世話になっております。これからもよろしく御願いいたします。

(7) 講習会に限らず、PX-UG幹事会に伝えたいこと・要望等があれば自由に記入してください。

- お疲れ様です。なかなか企画を考えるのも大変になってくると思いますが、引き続きよろしく御願い申し上げます。
- 地方在住で交通費等の捻出も大変な状況において、このような講習会にオンラインで参加できることは大変助かっております。是非今後もオンラインを続けて下さいますよう、御願い申し上げます。
- とても勉強になっています。
- 毎回ではないですが講習会に参加させていただき、得た知識を日頃の研究に活用しております。ありがとうございます。
- いつも有意義な情報のご提供ありがとうございます。
- 大変なこともあるかと思いますが、今後もこのような有益な講習会を続けていただきたいです。

お問い合わせ先

px_pfug@kek.jp

hash@u-shizuoka-ken.ac.jp

PFMXビームラインの利用に関するお問い合わせ

<https://sites.google.com/sbrc.jp/mxblmanual/inquiry>

プログラム

1. はじめに（橋本・静岡県大）
2. 来年度（R8年度）の新体制紹介（橋本・静岡県大）
3. UG活動報告（中級者向け講習会）（橋本・静岡県大）
4. 構造生物学センターより（千田・KEK）
5. ビームラインの現状と今後の予定（松垣・KEK）
6. クライオ電顕の現状と今後の予定（藤井・KEK）
7. 自由討論
8. まとめ（千田・KEK）